

広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会



CONTENTS 主な内容

② あしたのまち・くらしづくり活動賞 中央審査会

- 川口市プレイリーダー協議会
- 和光市コミュニティ協議会

NPO協働事例集

③ 市町村コミ協の魅力発見!

- 鳩ヶ谷市コミュニティ協議会
- 小川町コミュニティ協議会

活動紹介「子ども大学かわごえ」

④ つなげよう 地域の力

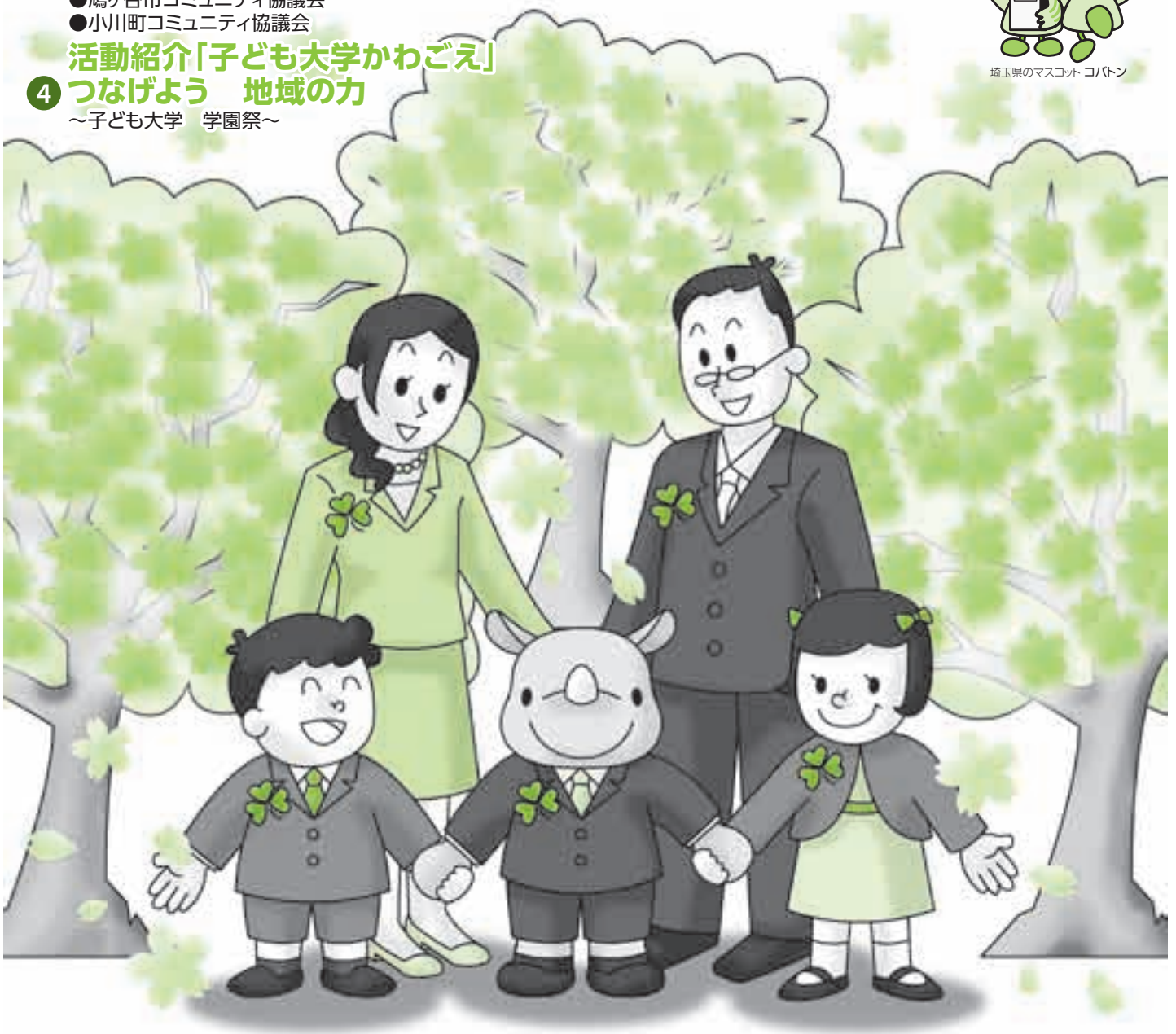
～子ども大学 学園祭～

2011.3

第32号



埼玉県のマスコット コバトン



彩の国コミュニティ協議会 会員®賛助会員募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

会員

- 対象：企業・団体
- 会費：企業1口5,000円を2口以上
団体1口5,000円を1口以上

賛助
会員

- 対象：個人
- 会費：1口2,000円

賛助会員だけの入会特典

入会記念として

サイコミ君
缶バッジ(2個)を
プレゼント!



お知らせ

どしどし応募してね!

「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。詳細については事務局へお問い合わせください。



あしたのまち・くらしづくり活動賞の県審査会で優秀賞に輝いた4団体を全国から活動事例が集まる中央審査会に推薦したところ、以下の2団体が振興奨励賞を受けられましたので紹介します。

【川口市プレイリーダー協議会】

川口市プレイリーダー協議会は、市内の公園を拠点とし、あそびを通して子どもの好奇心や冒険心を刺激し自ら創り出す喜びや仲間づくりの楽しさを伝える「あそびのボランティア活動員」プレイリーダーの集まりです。子どもたちに必要な「やりたい」「やってみたい」という自由で自発的なあそびを実現させ、様々な人と関わり合いながら様々な経験を、将来社会で生きていく力（社会力）を身につけられるようプレイパーク事業に取り組んでいます。竹・木・紙を用いた工作や、幼児・低学年児童を対象としたお話などを自然に恵まれた木々の下で実施。数々のあそびを大きな子・小さな子が同じ空間で楽しむことにより、子どもたち同士のコミュニケーションがとれ、成長ステップの手助けになっていると感じています。

また、学校と地域の連携体制の一環として、学校の総合学習や町内会のイベントで昔あそびを伝える「あそびの出前」も行っています。プレイリーダーが昔あそびの道具を準備し始めると、親たちが懐かしさで子ども以上に夢中になってあそぶ姿も見られ、さらに子どものあそびへの興味が膨らんでいくようです。親子が一緒に楽しむことは、家庭内でのコミュニケーションを手助けすることにもなっています。

これらの活動を続けることが、私たち大人から子どもたちへの「夢のプレゼント」になることを願い、今後も活動を続けていきたいと思えます。



竹細工に挑戦する子ども達

（会長：中島 嘉明）

【和光市コミュニティ協議会】

和光市コミュニティ協議会は、地域の人々が健全で住みよい快適な環境をつくり、人々との「ふれあい」を大切にすることを養うことが必要であるという観点から昭和57年に発足。自治会連合会など、市内の8つの団体から構成される地縁系の連合組織です。地域団体やNPO等と連携・協働する事で様々な事業を行い、コミュニティづくりを進めています。

近年では、安心して利用できる公園の再生活動、地域で地道に活動されている方への感謝表彰、地域の風習や知恵を調べる伝承事業、青少年のボランティア体験活動、地元野菜を使った「地元おふくろ鍋」でのイベント参加などを行いました。今年度については、市制施行40周年に合わせて「白子宿きもの散歩」をNPO法人の協力のもと実施しました。かつて宿場町として栄えた白子宿の名残を着物姿でたどるとともに、同時開催の「古老のおはなし」や「江戸しぐさ体験」を通して地域の歴史や文化を学びました。

今後も、コミュニティ協議会のネットワークを活かして、多くの住民を巻き込みながら、人とのつながりや地域が活性化するように、コミュニティ活動を続けていきたいと考えています。

（会長：浪間 貞）



情緒ある町並みを歩く参加者

NPO協働事例集

埼玉県NPO活動推進課は、地域の力を結集し全員参加での地域づくりを進めている取り組みを編集した小冊子「NPO協働事例集」を発行しました。NPOが企業、大学、地域団体などと協働して行った27事例が紹介されています。会員の皆さんが他の団体とつながるきっかけに、また地域の課題解決の手がかりに、ぜひ御活用ください。

【たとえば・・・】

- 環境保全のNPO法人が自治会から集会所の屋根を借り、ソーラー発電機を設置。自治会館を市民共同発電所にしたことで、地域住民の温暖化防止に対する意識向上につながり、電気料金も節約された。
- NPO法人が子育て広場を開設すべく、商工会議所に相談。空き店舗を活用してのオープンにこぎつけ、若い母親層が商店街を利用することで地域の活性化にもつながった。

以下のホームページから内容を御覧いただくことができます。

<http://www.saitamaken-npo.net/kyodojirei/report/h22kyoudoujirei/h22npokyodoujireisyu.php>

問い合わせ：埼玉県NPO活動推進課 TEL048-830-2839



市町村コミ協の魅力発見!

県内には70の市町村コミュニティ協議会(=コミ協)があります。地域性、特性を活かして活動しているコミ協をPR!あなたのお住まいの地域で活動している市町村のコミ協はどこなところでしょう??

鳩ヶ谷市コミュニティ協議会

鳩ヶ谷市コミュニティ協議会は、昭和56年に22の市民団体によって設立され、「ひろげよう ふれあいの輪を きずこう すみよいまちを 私たちの手で」を合言葉に、市民の心のふれあう地域社会を築くことを目的に活動しております。現在、33の団体で構成され、コミュニティ意識の普及啓発を促進するさまざまな活動を行っております。

平成21年度からは「コミュニティまつり」を実施し、構成団体による日頃の活動発表や展示などを行っています。今年度は構成団体の一つである鳩ヶ谷市商工会主催の「浦和レッズ応援ツアー」も同時に行い、約500名の方々に大いに賑わいました。

平成22年度においては、南鳩ヶ谷駅東口の環境美化を推進するため「花いっぱい事業」を6月に実施しました。駅周辺の子どもの会の協力のもと、ロータリーにヒマワリやその他数種類の花を植え、辺り一帯が大変美しく生まれ変わりました。



賑わうフリーマーケット

また、鳩ヶ谷市コミュニティ協議会主催の平成23年度最初の事業として、4月17日(日)午前10時から鳩ヶ谷市役所駐車場にてフリーマーケットを行います。この事業は、家庭内にある不用品等の譲り合いを通じて、市民のふれあいの場とコミュニケーションの輪を広げ、環境美化・資源の有効利用、リサイクル意識の高揚を図り「すみよいまちづくり」の推進を目的とするものであり、毎年多くの方で賑わいます。市外からお越しになる方も多いため、お時間のある方は是非お越しください。

事務局：鳩ヶ谷市自治振興課 TEL048-280-1111

小川町コミュニティ協議会

小川町コミュニティ協議会は、住民の心のふれあう住みよい地域づくりを目的として、昭和55年に設立されました。現在は、町長を会長とし、75行政区の区長と、4地域の公民館長の合計80人の会員で構成されています。主な活動として、「花いっぱい運動」、「青少年によるウグイの放流」、「七夕まつり竹飾りコンテスト参加」があります。

「花いっぱい運動」は、毎年4月と10月の第4日曜日に、38行政区と3団体の参加により、駅前通りを中心に各公共施設などに花苗を植え、明るくきれいな町づくりに努めています。「青少年によるウグイの放流」は、町内を流れる槻川と兜川の河川清掃とともにウグイを放流することにより、自分達で自然を守れるということを知ってもらうため、毎年実施しています。

「七夕まつり竹飾りコンテスト参加」は、日ごろから地域の公民館活動で活躍されている住民の方々と、中学生が竹飾りの作成を通して競い合いますが、飾りつけの最中には、和気藹々とした雰囲気の中でコミュニケーションが図られ、小川町の古くからの伝統のまつりに楽しくかかわることが出来ると好評です。



ウグイの放流



七夕飾りを協力作成

事務局：小川町政策推進課 TEL493-72-1221

活動紹介

「子ども大学かわごえ」

彩の国コミュニティ協議会は、地域における子育て事業に重点的に取り組んでいます。県内各地では地域の様々な団体が協力して子育て事業が行われています。

特色のある事例として、地域の大学や自治会との協働事業を計画している特定非営利活動法人子ども大学かわごえの取り組みを紹介します。

川越市霞ヶ関地区自治会連合と子ども大学かわごえの協働事業「かすみ子ども大学教室」について

特定非営利活動法人子ども大学かわごえ事務局長 酒井 一郎

子ども大学かわごえでは、子どもが抱く自然や社会現象への「問い」こそが「学び」の源泉であると考えています。しかし、現在の学校教育では時間や科目の制約があり、「真の学力」につながる教育に十分な時間が割かれているかどうか疑問を感じています。子どもたちのこの素朴な「なぜ」を解明する大学レベルの授業体験の機会を提供し、知的好奇心を刺激し学問への興味を喚起するべく地元の3大学(東京国際大学、尚美学園大学、東洋大学)の教員と連携して子ども大学かわごえを立ち上げました。

今回の事業は「小畔川を守る会」の会合に参加したことがきっかけで始まりました。この団体は入間川の支流である小畔川周辺の自治会10数団体が参加する組織です。その席で各自治会長から「地域の子どもの健全育成に何かよいプログラムがないか日ごろ探している」という相談があり、子ども大学の授業を一緒にできないかという話になりました。そこで考えたのが、霞ヶ関地区自治会連合と子ども大学かわごえの協働事業である「かすみ子ども大学教室」の開催です。子ども大学かわごえには、小畔川にも詳しい河の博士や地域の歴史など郷土学の専門家もいらっしやいますので、子ども達にとっても実りある学習の機会になると考え、来期中の実現を検討しています。

次ページでは、他の子ども大学で行われた学園祭の様子を紹介しています。

つなげよう 地域の

力ちから

彩の国コミュニティ協議会は、様々な主体が共に助け合いながら地域社会づくりが進められるよう、地域の「つなぎ役」として支援・協力を行っています。そんな地域のパワフルな活動を皆様に毎号お伝えしていきます。

子ども大学 学園祭

県内5か所の子ども大学において、地域団体や行政が協力して学園祭が実施されました。学園祭では子ども大学生(子どもたち)が就業体験を行い、その報酬(模擬通貨)で買い物をするなど社会生活の仕組みを学びました。当日はサイコミ君も登場し、コミュニティ活動を促進する啓発グッズを配布。学園祭を盛り上げました。

子ども大学ふかや

平成22年11月27日(土) 旧七ツ梅酒造

子ども大学ふかやの学園祭は「七ツ梅ランド」と名付けられ、約300年の歴史を持つ旧七ツ梅酒造跡にて開催されました。

当日は、子ども大学生が7つのブース(カレー、煮ぼうとう、和菓子、ベーグル、ブーメラン竹とんぼ、映像試写、インフォメーション)にわかれ商品の製造販売などを行いました。来園者は各ブースを見てまわり、子どもたちの応援をするとともに「ボーナスチケット」を手渡していました。

映像試写ブースではオリジナルムービーが上映され、子ども大学の成果発表も行われました。



試写ブースは大賑わい

子ども大学いざ

平成23年1月16日(日) 新都市児童センター

子ども大学いざの学園祭では、カプラという積み木を使い子どもの街をつくりました。

子ども大学生はあらかじめ5チーム(スカイツリー、本屋、東武鉄道、マンション、国際空港)にわかれ、つくりたい建物の絵を用意。当日集まった一般参加の子どもたちに対しプレゼンを行って仲間を募り、街づくりの作業が始まりました。1時間もすると、子どもの背丈ほどもあるタワーなど、独創性にあふれる建物で会場はいっぱいになりました。

子どもたちには作業報酬が支払われたほか、スタッフによる採点の結果、最優秀賞とサイコミ君賞に選ばれたチームには賞金が贈呈され、収入に応じた景品と交換していました。



仲間と協力して作業

子ども大学こしがや

平成23年2月20日(日) 越谷市中央公民館

子ども大学こしがやの学園祭は、市の生涯学習フェスティバルの中で行われ、大勢のお客様が訪れる賑やかなものとなりました。

当日は銀行、お菓子すくい、駄菓子、おしるこ、くじ引き、チョコバナナ、ストラックアウト、ネイルアート、マジックカード、手作りシールの10ブースで子ども大学生がサービスの提供を行いました。

また、子ども大学の講座の中で作成した大きな書道作品も展示され、迫力の文字に訪れた大人達も感心した様子で見入っていました。



サイコミ君とマナビィ

子ども大学ぎょうだ

平成23年3月5日(日) 行田市商工センター

子ども大学ぎょうだの学園祭は、行田市の特産品でもある足袋の部品「こはぜ」を通貨に使って行われました。

子ども大学生は市役所や銀行、学園祭をレポートする放送局のほか、ゼリーフライの販売や古代人の服を試着する体験コーナー等で一般来場の子どもたちをもてなし、行田市らしいイベントとなりました。

ものづくりコーナーでは「リサイクルペンダント」と「やじろべえ」を作成。子どもたちが工作を通じてやじろべえの仕組みを発見するという、学習の機会にもなっていました。



やじろべえを作成中

子ども大学ところざわ

平成23年3月13日(日) 所沢市生涯学習推進センター

子ども大学ところざわの学園祭は市の生涯学習フェスティバルの中で行われ、店舗の運営だけでなく、講座の様子をまとめた新聞の展示もありました。

そのほか、写真やDVDが公開され、子ども大学生は解説員として来場者に子ども大学を紹介していました。

また、手製のチラシを配る広報活動、模擬店では駄菓子や昔のおもちゃの販売もあり、各ブースをローテーションで担当しながら、様々な仕事をしていました。



お客様に説明

コミュニティマップのご案内

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップを御希望の方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局(右記参照)へお送りください。

県内の
イベント情報が
盛りだくさん!

